

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

教育総務課

件名	鹿島市立鹿島小学校 弘道館2動画の活用授業について(ご案内)
アピールポイント	弘道館2動画「なりたい自分になる学」では、若者向けに人生計画の立て方を講義したものである。本授業では、動画を視聴することで、自分の夢を思い描く大切さに気づき、自分の「100年年表」を作成し、なりたい自分について具体的にイメージをさせていく。
説明	<p>【授業の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none">1 「弘道館2」の動画視聴を行い、夢を発信することの大切さについて知らせる。2 「100年年表」について知り、自分の「100年年表」を作成させる。3 自分が作成した「100年年表」をもとに、友だちと交流し、夢を語ることの大切さを再確認するとともに、友だちの夢に共感的に聞かせる。4 「夢に向かって努力すること」と「佐賀県民の良さ」(内に秘めたるガッツがあること)を関わらせ、郷土の先輩の活躍を知らせ、佐賀を誇りに思う気持ちを持たせる。5 本時の学習を振り返らせ、自分の将来について深く考えることの大切さについて確認し、目標をもって生きる意欲や態度の涵養を図る。 <p>※県まなび課より4名来校 15:00～ 6の1で実施</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	鹿島市立鹿島小学校
氏名	山田 洋
TEL	0954-63-5255
FAX	63-5260
Mail	kashi-v@po.asunet.ne.jp

第6学年1組 学級活動(3)学習指導案

令和5年2月3日(金)6校時

児童数 32名

指導者 教諭 萩尾寿隆

1 題材名「なりたい自分になるための計画をたてよう！」

～「なりたい自分になる学」-人生計画の立て方、教えます-優木まおみ～

学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

(1)弘道館2動画「なりたい自分になる学-優木まおみ-」について

本動画は、佐賀県出身の講師である優木まおみさんが若者向けに「なりたい自分」になるための人生計画の立て方を講義したものである。本編は、①優木さん自身やその他有名人が自分の夢を叶えるために実践したことの紹介、②ワークショップ1「100年年表」、③ワークショップ2「マインドマップ」、④Q&A・若者へのメッセージという4部構成となっている。動画は講義の「フルバージョン」と「40分バージョン」の2種類が用意されている。また、「フルバージョン」はキャプチャ別に編集されているため、目的や時間に合わせて視聴・使用することが可能である。

(2)児童について

本学級の児童は、卒業を控え新たな中学校生活への期待と残りわずかとなった小学校生活への寂しさが入り交じりながら一日一日を大切に過ごしている。図画工作科の学習では自分の将来の姿をイメージして、粘土を使って立体作品を制作している。また、国語科「プロフェッショナルたち」の学習ではそれぞれの仕事を極めた登場人物のストーリーを読んで、自分の生き方について考える機会となっている。しかし、自分が将来「なりたい姿」を具体的にイメージできている児童はいるが、その姿にたどり着くまでのプロセス、「なりたい姿」実現後のイメージを考える経験はまだない。

(3)指導について

令和4年3月に改訂された「小学校キャリア教育の手引き」の中にある、四能力の1つに「(イ)自己理解・自己管理能力」が位置づけられている。しかし、多くの児童にとって将来の姿を具体的に書き記すことが初めての経験であるため、活動に困難さを感じ停滞する恐れがある。そのため、弘道館2の動画視聴や、教師自身の「100年年表」を例示し、イメージを持たせて活動に臨ませたい。また、「100年年表」を書いたり、友だちに紹介したりすることに恥ずかしさを感じる児童がいるので、安心して取り組める雰囲気づくりを大切にしながら指導していきたい。

本時の展開

(1)目標 「100 年年表」作成を通して、将来の自分へのイメージをもつ。

(2)展開

過程	主な学習過程	○指導上の留意点 ◆評価
① だ い を つ か む	1.夢を発信することの大切さについて知る。(6分) ・弘道館2 動画視聴 (40分 ver はじめ～5:07)	・夢実現のため、アウトプットの大切さを確認させる。 ○書き出す→具体的な目標設定が夢実現の道。 ○直言→自分が奮い立つ、周りの人の応援から応援してもらえる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ◎ なりたい自分になるための計画をたてよう！ </div>	
○ ら べ る	2.「100 年年表」について知り、作成する。(14分) ○弘道館2 動画視聴 (フル ver46:56～49:52)	○自分がやってみたいことを自由に書かせる。 ○思いつくまま、周りの目を気にせず書かせる。 ・教師の100 年年表を例示し、参考にさせる。 ・「夢」「家族」「趣味」などで分けて考えさせる。
	◆評価(ワークシート) ○「なりたい自分」をイメージして「100 年年表」に書き込むことができる。 A「100 年年表」を自分の生涯をイメージして作成することができる。 B「100 年年表」を自分の夢実現まで作成することができる。 C「100 年年表」を作成することができない。 →将来の夢や家族構成・趣味等に絞って作成するよう声かけする。	
② と め る	3.自分が作成した「100 年年表」をもとに交流する。 (グループ(5分)→全体(5分))	○自分の夢を語ることの大切さを再確認して取り組ませる。 ○友だちの夢を応援する気持ちで、共感的に聞かせる。
	4.本時の学習を振り返る。(8分)	○楽しく活動できたか、将来の自分にイメージが持てたか、友だちの夢を共感的に聞けたかの3観点で自己評価させる(◎・○・△)。 ○児童数名に振り返りを発表させる。
	5.講師からのメッセージを聞き、佐賀の県民性を知る。(7分) ○弘道館2 動画視聴 (40分 ver35:11～37:26)	○他県の方から見た、佐賀県人の県民性の良さについて知らせる。 ・「佐賀んもんが歩いた後は草木も生えない」 →ガッツがある、内に秘めたるパワーがある、心遣いができる人が多い。

①弘道館2のコンセプト

- 異なる・違う価値観に触れることで佐賀の若者の「道を弘(ひろ)げる」。
- 佐賀の若者のこれからの人生を応援する。
- 偉大な先輩を数多く輩出した佐賀を「誇り」に思うこと。



～価値観が多様化する現代において、日常で会うことのない価値観(県ゆかりの様々な職業・分野で活躍する講師)からものごと・自分・人生を考えるきっかけづくり～

18歳成人が施行された今こそ、「自分で考え、行動できる人」を育てる

県総合教育会議(令和4年8月16日)

～講師陣(例)～

井上前校長先生の弟さん!



オンライン講座
配信済!

「夢学」
一歩を踏み出す勇気は、
他者でがんばるよりも!

イラストレーター
326 (みづみ) 先生

6月配信



オンライン講座
配信中!

「なりたい自分になる学」
一人ひとりの夢を叶える

イラストレーター
優木まおみ 先生

7月配信



オンライン講座
配信中!

「右脳と感性を磨く術」
クリエイティブは命をよぶ!

イラストレーター
井上英明 先生

8月配信

②キャリア教育の位置づけ(学習指導要領)

(前文)児童が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から児童や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。幼児期の教育の基礎の上に、中学校以降の教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、児童の学習の在り方を展望していくために広く活用されるものとなることを期待して、ここに小学校学習指導要領を定める。

(総則 第4 児童の発達の支援 1)

(3) 児童が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

(特別活動第3章第1節2 学級活動の内容)

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

まとめ①+② キャリア教育が学校現場でも重視されている現代、佐賀県出身著名人による様々な講義が収録された動画を活用して授業を行えば、今後の子どもたちの将来設計を考えるきっかけづくりになり、ふるさとを誇りに思う気持ちが高まるはず!!

「なりたい自分になる学」ワークシート

名前(_____)

㊦ なりたい自分になるための計画をたてよう！

① どうして、夢を発信することが大切なの？

書き出す → 具体的な目標設定で夢実現までの道が見える！

誰かに伝える → 自分を奮い立たせる、周りが応援してくれる！



優木まおみさん

② 自分の「100 年年表」を作ろう！ → 裏面に書いてみよう

③ 「100 年年表」を使って友だちと夢を語り合おう！

ポイント 「語る人」…夢を語って自分を奮い立たせよう！

「聴く人」…共感的に、応援する気持ちで！(拍手と一言激励)

④ 「振り返り」

(1) 今日の学習を、◎・○・△で自己評価しよう。

「弘道館 2」動画を使って楽しく活動することができた。	
「100 年年表」作成で将来の自分のイメージをもつことができた。	
友だちの「100 年年表」プレゼンを共感的に聞くことができた。	

(2) 弘道館 2 動画を使った授業の感想や、自分の「100 年年表」を作ってみての感想、友だちが作った「100 年年表」のプレゼンを聞いた感想などを書きましょう。

ワークショップ 自分の「100年年表」を書いてみよう！

～作り方のポイント～

- 自分がやってみたいことを自由に書こう！
- 思いっくままに、周りの目を気にせず書こう！

名前(_____)

10才

20才

30才

40才

50才

60才

70才

80才

90才

100才
